



GR DIGITAL II で追加となった機能について

この度はGR DIGITAL IIをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

本書は、同梱の「GR DIGITAL II使用説明書（カメラ編）」で追加となった機能について説明しています。参照しているページは、「GR DIGITAL II 使用説明書（カメラ編）」での関連ページです。

1 撮影モード時のホワイトバランス補正

〔ホワイトバランス〕（☞P.114）で設定しているホワイトバランスモードの色調を、グリーン、マゼンタ、ブルー、アンバーで構成された補正マップのポイントを変更することで色調を補正することができます。補正の値は、その後ホワイトバランスモードを変更しても、変更後のホワイトバランスモードに対して同じ値で適用されます。ホワイトバランス補正は、セットアップメニューの〔ADJ.レバー設定1/2/3/4〕と〔ファンクションボタン設定〕にも登録できます。（☞「13〔ADJ.レバー設定1/2/3/4〕／〔ファンクションボタン設定〕の〔ホワイトバランス補正〕」）

1 撮影設定メニューを表示する

2 ▼ボタンを押して〔ホワイトバランス補正〕を選び、▶ボタンを押す

- 〔ホワイトバランス補正〕画面になり、左下にホワイトバランス補正マップが表示されます。



2 ノイズリダクション

静止画の撮影時に、ノイズ軽減を優先した画像処理を行います。

設定	内容
OFF	ノイズ軽減を優先した画像処理は行いません。
ISO401以上	ISO感度が401以上の場合に、ノイズ軽減を優先した画像処理を行います。
ISO801以上	ISO感度が801以上の場合に、ノイズ軽減を優先した画像処理を行います。
ISO1600	ISO感度が1600の場合に、ノイズ軽減を優先した画像処理を行います。
ON	ISO感度の値にかかわらず、ノイズ軽減を優先した画像処理を行います。

1 撮影設定メニューを表示する

2 ▼ボタンを押して〔ノイズリダクション〕を選び、▶ボタンを押す

3 ▲▼ボタンを押して、設定を選ぶ

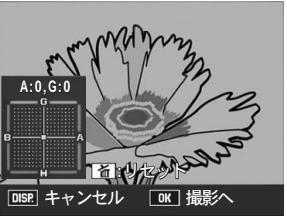
4 MENU/OKボタンを押す、または◀ボタンを押してMENU/OKボタンを押す

- 画面にマークが表示されます。



3 ▲▼◀▶ボタンまたはADJ.レバー、アップダウンダイヤルでホワイトバランス補正マップのポイントの位置を調整し、色調を補正する

- 〔G〕はグリーン、〔A〕はアンバー、〔M〕はマゼンタ、〔B〕はブルーを示し、ポイントの動きに合わせて、それぞれの色合いの色調に補正されます。
- 補正の値がホワイトバランスマップの上に表示されます。
- ホワイトバランス補正をキャンセルしたい場合は、DISP.ボタンを押します。
- 補正中の色調をリセットしたい場合は、◀ボタンを押します。
- この画面でシャッターボタンを押しても、補正中のホワイトバランスで撮影することができます。

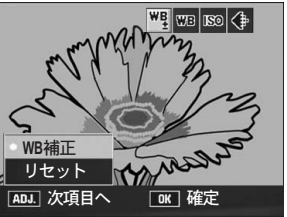


4 MENU/OKボタンを押す

- 画面にマークが表示されます。

🔍 注意

- 〔ADJ.レバー設定1/2/3/4〕で〔WB補正〕を設定している場合は、ADJ.モード画面で〔WB補正〕を選び、MENU/OKボタンを押すと、ホワイトバランス補正マップが表示されます。設定画面で〔リセット〕を選んでMENU/OKボタンを押すと、補正値がリセットされます。



- 〔ファンクションボタン設定〕で〔WB補正〕を設定している場合は、Fn（ファンクション）ボタンを押すと、ホワイトバランス補正マップが表示されます。
- 〔画像設定〕を〔白黒〕または〔白黒TE〕に設定している場合は使用できません。
- シーンモードでは、〔動画〕のときのみ使用できます。
- 被写体によっては、補正効果が得られにくい場合があります。
- 再生モードの〔ホワイトバランス補正〕とは補正値が異なります。

3 絞り優先モード時の〔絞り自動シフト〕

明るすぎる環境での撮影時などは、設定した絞り値によっては露出オーバーとなることがあり、〔IAE〕マークが表示されます。その場合は、絞り値を大きくする（絞りを絞る）か、〔絞り自動シフト〕を〔ON〕に設定してください。〔絞り自動シフト〕を〔ON〕に設定すると、絞り優先モードのときにカメラが自動的に絞り値を大きくして、適正露出が得られるようになります。（☞P.74）

1 モードダイヤルをAに合わせる

2 撮影設定メニューを表示する

3 ▼ボタンを押して〔絞り自動シフト〕を選び、▶ボタンを押す

4 ▲▼ボタンを押して、〔ON〕を選ぶ

5 MENU/OKボタンを押す、または◀ボタンを押してMENU/OKボタンを押す



🔍 メモ

モードダイヤルをA以外に合わせているときは、〔絞り自動シフト〕は表示されません。

4 マイセッティングモード時の撮影モード切り替え

マイセッティングモード時（☞P.82）に、モードダイヤルを回すことなく撮影モードを変更することができるようになりました。

1 モードダイヤルをMY1/MY2に合わせる

- 〔マイセッティング登録〕で登録した撮影モードのマークが表示されます。

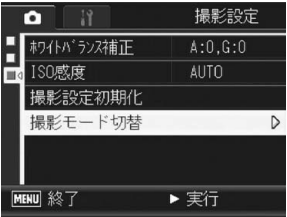
2 撮影設定メニューを表示する

3 ▼ボタンを押して〔撮影モード切替〕を選び、▶ボタンを押す

4 ▲▼ボタンを押して、設定を選ぶ

5 MENU/OKボタンを押す

- 撮影モードが切り替わり、画面に撮影モードのマークが表示されます。



🔍 メモ

モードダイヤルをMY1/MY2以外に合わせているときは、〔撮影モード切替〕は表示されません。また、〔マイセッティング登録〕を設定したときにシーンモードだった場合は、モードダイヤルをMY1/MY2に合わせても〔撮影モード切替〕は表示されません。

5 マイセッティングで保存できる設定

セットアップメニューの〔マイセッティング登録〕で、以下の項目を保持することができるようになりました。

マニュアル露光モード時のシャッター速度、絞り値（☞P.75）

🔍 メモ

〔マイセッティング登録〕の設定方法については、P.153を参照してください。

7 AFターゲット移動機能

AFターゲット移動機能（☞P.65）を、マクロモード時以外にも使用できるようになりました。また、ADJ.レバーだけでなく、Fn（ファンクション）ボタンでもAFターゲット移動機能が使用できるようになりました。

1 ●ADJ.レバーの場合：ターゲット移動画面（画面中央の十字）が表示されるまで、ADJ.レバーを左右に押す

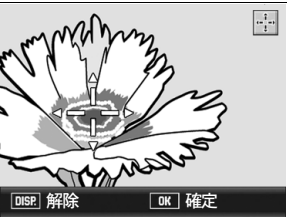


●Fnボタンの場合：セットアップメニューで〔ファンクションボタン設定〕を〔AFターゲット〕に設定し（☞P.156）、Fnボタンを押す

- ターゲット移動画面が表示されます。

2 ▲▼◀▶ボタンを押して、ピントを合わせたい被写体に十字を移動する

- DISP.ボタンを押すと、AFターゲット移動機能は解除され、ターゲット位置は中央に戻ります。



3 MENU/OKボタンを押す

4 シャッターボタンを半押しする

- 十字の位置にピント合わせが行われます。

5 シャッターボタンをそのまま静かに押しきる

🔍 メモ

シーンモードの場合は、マクロ撮影時のみ本機能を使用できます。通常撮影時には使用できません。

6 WB補正のMY登録

〔ホワイトバランス補正〕で設定した値を、〔マイセッティング登録〕（☞P.153）で保存するかどうかが設定できます。

設定できる値	内容
ON	〔ホワイトバランス補正〕で設定した値を〔マイセッティング登録〕で保存する
OFF ※購入時の設定	〔ホワイトバランス補正〕で設定した値は〔マイセッティング登録〕で保存しない

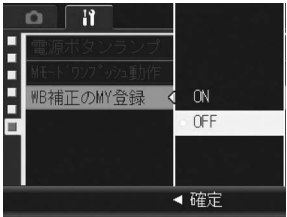
1 セットアップメニューを表示する

- 操作手順は、P.148を参照してください。

2 ▼ボタンを押して〔WB補正のMY登録〕を選び、▶ボタンを押す

3 ▲▼ボタンを押して、設定を選ぶ

4 MENU/OKボタンを押す、または◀ボタンを押してMENU/OKボタンを押す



8 マニュアル露光モード時のワンプッシュ動作

セットアップメニューの〔Mモードワンプッシュ動作〕の設定により、マニュアル露光モード時の絞り値やシャッタースピードを、自動的に適正値付近に近づけることができるようになりました。

〔Mモードワンプッシュ動作〕の設定	内容
絞り優先	Q/☒ボタンまたはFnボタンを押すと、絞り値が固定され、シャッタースピードを自動的に適正値付近に近づけます。
シャッター優先	Q/☒ボタンまたはFnボタンを押すと、シャッタースピードが固定され、絞り値を自動的に適正値付近に近づけます。
プログラム	Q/☒ボタンまたはFnボタンを押すと、シャッタースピードと絞り値を自動的に適正値付近に近づけます。

本機能は、以下のいずれかの場合に有効です。

- 〔ズームボタン設定〕（☞P.160）を〔露出補正〕に設定している場合：Q/☒ボタンで上記の操作が可能です。

- 〔ファンクションボタン設定〕（☞P.156）を〔AEロック〕に設定している場合：Fnボタンで上記の操作が可能です。

🔍 メモ

上記を設定していても、マニュアル露光モードでは露出補正またはAEロック機能は働きません。〔Mモードワンプッシュ動作〕の機能のみ有効になります。

1 モードダイヤルをMに合わせる

2 セットアップメニューを表示する

- 操作手順は、P.148を参照してください。


3 ●Q/☒ボタンを有効にする場合：〔ズームボタン設定〕を〔露出補正〕に設定し、◀ボタンを押す

●Fnボタンを有効にする場合：〔ファンクションボタン設定〕を〔AEロック〕に設定し、◀ボタンを押す

4 ▼ボタンを押して、〔Mモードワンプッシュ動作〕を選び、▶ボタンを押す

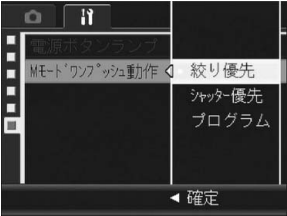
5 ▲▼ボタンを押して、設定を選ぶ

6 MENU/OK ボタンを押す、または◀ボタンを押してMENU/OK ボタンを押す

7 ●手順3で[ズームボタン設定]を設定した場合は、Q/ボタンを押す

●手順3で[ファンクションボタン設定]を設定した場合は、Fnボタンを押す

・絞り値がシャッタースピード、またはその両方を適正値付近に自動的に近づけます。



9 マニュアル発光モード時の発光量の設定 (フラッシュマニュアル発光量)

フラッシュモードで[マニュアル発光]が選択できるようになりました。フラッシュモードを[マニュアル発光]に設定した場合の、内蔵フラッシュ発光量を設定します。発光量は、最大発光量に対して、FULL、1/1.4、1/2、1/2.8、1/4、1/5.6、1/8、1/11、1/16、1/22、1/32、1/45から設定できます。

1 撮影設定メニューを表示する

・操作手順は、P.85を参照してください

2 ▼ボタンを押して[フラッシュマニュアル発光量]を選び、▶ボタンを押す

3 ▲▼ボタンを押して、設定を選ぶ



3 ▲▼ボタンを押して、設定を選ぶ

4 MENU/OKボタンを押す



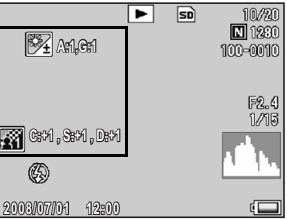
メモ フラッシュを使用して撮影する場合の操作方法は、P.42を参照してください。

11 ISO 感度表示

ISO感度を[AUTO]または[AUTO-HI]に設定している場合、シャッターボタン半押し時にISO感度が表示されるようになりました。この表示は、実際のISO感度とは異なる場合があります（フラッシュ使用時など）。

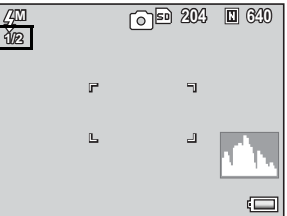
12 再生モード時の詳細情報表示

再生モード時に、撮影時のホワイトバランス補正値と画像設定値が表示されるようになりました。



4 MENU/OKボタンを押す

・フラッシュモードを[マニュアル発光]に設定している場合に、画面に設定値が表示されます。



メモ

・[フラッシュマニュアル発光量]で設定した値は、フラッシュモードを[マニュアル発光]に設定しているときのみ有効です。(参照P.42)

・フラッシュモードが[マニュアル発光]の場合は、[フラッシュマニュアル発光量]の設定値が有効となり、[フラッシュ調光補正]の設定値は無効になります。

・[フラッシュマニュアル発光量]の設定値と実際の発光量は多少異なる場合があります。

注意

目の近くでフラッシュを発光したり（特に乳幼児）、運転者などに向かってフラッシュを発光したりしないでください。

10 フラッシュ発光のタイミングの設定 (フラッシュシンクロ設定)

フラッシュが発光するタイミングを、以下の2種類から選択できるようになりました。ご購入時は、[先幕]に設定されています。

設定	内容
先幕	露光開始直後にフラッシュが発光します。通常の撮影ではこちらを選択してください。
後幕	露光終了直前にフラッシュが発光します。先に通常光部分を露光し、露光が終わる直前のタイミングで発光するため、動いている被写体を低速のシャッタースピードで撮影するときなどに、光跡や被写体の軌跡をより自然に表現することができます。


1 撮影設定メニューを表示する

・操作手順は、P.85を参照してください

2 ▼ボタンを押して、[フラッシュシンクロ設定]を選び、▶ボタンを押す

13 再生モード時のホワイトバランス補正

撮影した静止画の色調を、グリーン、マゼンタ、ブルー、アンバーごとに補正して記録することができます。

1  (再生) ボタンを押す

2 ▲▼◀▶ボタンを押して、補正したいファイルを表示する

3 MENU/OKボタンを押す

4 ▼ボタンを押して、[ホワイトバランス補正]を選び、▶ボタンを押す

・[ホワイトバランス補正]画面が表示されます。

・ホワイトバランス補正できないファイルを選択している場合は、エラーメッセージが表示されて再生設定メニューに戻ります。

5 ▲▼◀▶ボタンまたはADJ.レバー、アップダウンダイヤルでホワイトバ

ランス補正マップのポイントの位置を調整し、色調を補正する

・詳細は「1 撮影モード時のホワイトバランス補正」の手順3を参照してください。

6 MENU/OKボタンを押す

・処理中のメッセージが表示され、補正後の画像が記録されます。補正前の画像も残ります。

注意

・ホワイトバランス補正できるのは、本カメラで撮影した静止画です。ただし、RAWモードで撮影した静止画は、DNGファイル、JPEGファイルともに補正することはできません。


・動画、S連写、M連写で撮影した画像は、ホワイトバランス補正することはできません。

・シーンモードの[文字]で撮影した画像、[画像設定]を[白黒]または[白黒(TE)]に設定して撮影した画像は、補正効果がない場合があります。

・ホワイトバランス補正は繰り返し実行できますが、実行により画像を再圧縮するため、画質は劣化します。

14 アップダウンダイヤル/ADJ.レバーでの拡大再生

再生モード時に、Q（拡大表示）ボタンだけでなく、アップダウンダイヤルでも静止画を拡大表示できるようになりました。また、ADJ.レバーを左右にたおすと、拡大表示したまま前の画像/次の画像を表示することができます。

1  (再生) ボタンを押す

・最後に撮ったファイルが表示されます。

2 ▲▼◀▶ボタンを押して、拡大表示したい静止画を表示する

3 Q（拡大表示）ボタンを押す、またはアップダウンダイヤルを回す

・静止画が拡大表示されます。

・拡大表示した状態でADJ.レバーを左右にたおすと、拡大表示したまま前の画像/次の画像が表示されます。

メモ

拡大表示した状態でADJ.レバーを左右にたおしても、動画、S連写、M連写を表示すると等倍に戻ります。

15 [操作音]の[水準器音]

5種類の操作音(参照P.163)のうち、水準器音のみ鳴らす設定ができるようになりました。

メモ

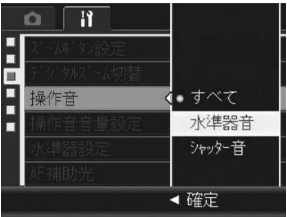
実行できない動作を行おうとしたときは、[操作音]の設定にかかわらず、警告音が鳴ります。

1 セットアップメニューを表示する

2 ▼ボタンを押して、[操作音]を選び、▶ボタンを押す

3 ▲▼ボタンを押して、[水準器音]を選ぶ

4 MENU/OKボタンを押す、または◀ボタンを押してMENU/OKボタンを押す



17 [ADJ.レバー設定1/2/3/4]/[ファンクションボタン設定]の[マニュアル発光]

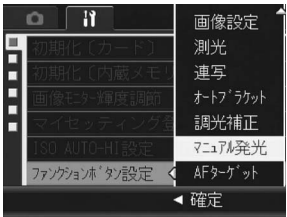
[ADJ.レバー設定1/2/3/4](参照P.158)と[ファンクションボタン設定](参照P.156)に[マニュアル発光]が登録できます。

1 セットアップメニューを表示する

2 ▼ボタンを押して、[ADJ.レバー設定1/2/3/4]または[ファンクションボタン設定]を選び、▶ボタンを押す

3 ▲▼ボタンを押して、[マニュアル発光]を選ぶ

4 MENU/OKボタンを押す、または◀ボタンを押してMENU/OKボタンを押す



16 [ADJ.レバー設定1/2/3/4]/[ファンクションボタン設定]の[WB補正]

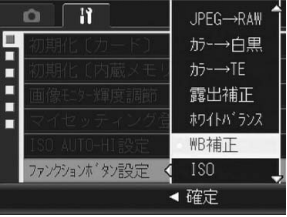
[ADJ.レバー設定1/2/3/4](参照P.158)と[ファンクションボタン設定](参照P.156)に[WB補正]が登録できます。

1 セットアップメニューを表示する

2 ▼ボタンを押して、[ADJ.レバー設定1/2/3/4]または[ファンクションボタン設定]を選び、▶ボタンを押す

3 ▲▼ボタンを押して、[WB補正]を選ぶ

4 MENU/OKボタンを押す、または◀ボタンを押してMENU/OKボタンを押す



メモ

上記設定後のホワイトバランス補正操作については、「1 撮影モード時のホワイトバランス補正」の注意を参照してください。

18 [電源ボタンランプ]の[ON]/[OFF]

電源をオンにした際に、電源ボタンランプを点灯させるかどうか設定できるようになりました。ご購入時の設定は、[ON]（電源オン時に、電源ボタンランプを点灯する）です。

1 セットアップメニューを表示する

2 ▼ボタンを押して、[電源ボタンランプ]を選び、▶ボタンを押す

3 ▲▼ボタンを押して、設定を選ぶ

4 MENU/OKボタンを押す、または◀ボタンを押してMENU/OKボタンを押す



19 TODAYS SHOTS 表示機能

POWERボタンを押して電源をオフにすると、その日の記録枚数が表示され、電源がオフになります。

・日時設定をしていない場合は、記録枚数は[0]と表示されます。

・日時設定を変更した場合は、設定変更後の記録枚数のみ表示されます。





* L 7 4 4 1 9 1 5 *

GR DIGITAL II で追加となった機能について

20 静止画の再生

撮影モードで▶(再生) ボタンを押すと、再生モードに切り替わり、最後に再生した静止画が表示されます。

電源がオフの状態で▶ボタンを約1秒以上押し続けると、再生モードの状態で起動し、最後に再生した静止画が表示されます。



メモ

以下の場合には最後に撮影された画像が表示されます。

- ・撮影した後に再生モードにした場合
- ・メモリーカードを交換した場合

21 ADJ. レバーの [ワンプッシュ拡大倍率]

再生モード時に、ADJ.レバーを押すと、設定した倍率に静止画を拡大表示できるようになりました。

倍率はセットアップメニューの [ワンプッシュ拡大倍率] で5.7倍、9.8倍、16倍から設定できます。



1 セットアップメニューを表示する

2 ▼ボタンを押して、[ワンプッシュ拡大倍率] を選び、▶ボタンを押す

3 ▲▼ボタンを押して、設定を選ぶ

4 MENU/OKボタンを押す、または◀ボタンを押してMENU/OKボタンを押す



- ・拡大表示で表示できる最大倍率は、選択している画像サイズによって異なります。

画像サイズ	拡大表示 (最大倍率)
3648 × 2736 ~ 2048 × 1536	16倍
1280 × 960	6.7倍
640 × 480	3.4倍

- ・ファイルの画像サイズの最大倍率が、ワンプッシュ拡大倍率で設定した値以下の場合、そのファイルの最大倍率になります。
- ・セットアップメニューの [再生ダイヤル設定] を [設定 2] に設定すると、画像拡大時にADJ.レバーとアップダウンダイヤルで画面内の表示箇所を移動できます。詳細については、「23 ADJ.レバー/アップダウンダイヤルの機能を入れ替える [再生ダイヤル設定]」を参照してください。
- ・ADJ.レバーを左右にたおすと、拡大表示したまま前/次の画像を表示します。詳細については、「14 アップダウンダイヤル/ADJ.レバーでの拡大表示」を参照してください。

22 ADJ. レバー/アップダウンダイヤルの機能を入れ替える [Mモードダイヤル設定]

セットアップメニューの [Mモードダイヤル設定] で、Mモード時のADJ.レバーとアップダウンダイヤルの機能を以下の設定から選択できるようになりました。

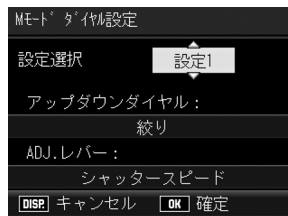
設定	ADJ.レバー	アップダウンダイヤル
設定1	シャッタースピード設定	絞り設定
設定2	絞り設定	シャッタースピード設定

1 セットアップメニューを表示する

2 ▼ボタンを押して、[Mモードダイヤル設定] を選び、▶ボタンを押す

3 ▲▼ボタンを押して、[設定1] または [設定2] を選ぶ

4 MENU/OKボタンを押す、または◀ボタンを押してMENU/OKボタンを押す



23 ADJ. レバー/アップダウンダイヤルの機能を入れ替える [再生ダイヤル設定]

セットアップメニューの [再生ダイヤル設定] で、再生モード時のADJ.レバーとアップダウンダイヤルの機能を以下の設定から選択できるようになりました。

設定	ADJ.レバー	アップダウンダイヤル
設定1	拡大時のコマ送り	ズーム倍率変更
設定2	拡大時の左右移動	拡大時の上下移動

1 セットアップメニューを表示する

2 ▼ボタンを押して、[再生ダイヤル設定] を選び、▶ボタンを押す

3 ▲▼ボタンを押して、[設定1] または [設定2] を選ぶ

4 MENU/OKボタンを押す、または◀ボタンを押してMENU/OKボタンを押す

